

サクラの天敵！

クビアカツヤカミキリ

の防除にご協力下さい。

2012年に、愛知県で発見され全国に拡散中の外来害虫で、サクラ、ウメ、カキ、モモなどの樹木に寄生し、枯死の原因となります。

◎ 生態と特徴

- ・成虫の体長は、3～4 cmで、身体全体は光沢のある黒色です。名前にあるように首の周りが赤色となっています。
- ・成虫は、6～8月に発生します。
- ・幼虫は、樹木の幹で2～3年育ち、食入口からフラス（虫の糞と木くずが混ざった物）を排出しますので、その木を中心に成虫を発見します。



幼虫の食害により排出された大量のフラス

成虫を見つけたら、捕殺して下さい。



クビアカツヤカミキリ成虫

成虫を見つけれたら、下記までお知らせ下さい。

淀川河川公園管理センター 植物管理課 （太間サービスセンター内）

電話 072-838-0859